

# 文書館だより

Fukui Prefectural Archives



福井県師範学校運動会

「福井県師範学校運動会」(坪田仁兵衛家文書)

## 第3号目次

閲覧室展示紹介 .....	2
講演会・講座の報告 .....	3-4
歴史的公文書紹介 .....	5
古文書資料紹介 .....	6-7
お知らせ .....	8

第3号

2004.3

福井県文書館

## 閲覧室展示紹介

# 「福井県誕生」

今回のテーマは1881年（明治14）の福井県誕生にスポットを当て、福井県設置以前の本県域を含む石川県と滋賀県、そして誕生後の福井県の地図をそれぞれパネルで紹介しています。また同時に福井県設置の過程や、その後の滋賀県令の動きについて、政府公文書である『公文録』（国立公文書館蔵、重要文化財）を中心に展示しています。

廃藩置県以来、10年間にわたって目まぐるしく変化した本県の廃置分合は明治14年に終止符を打ち、現在に至るわけですが、その経過は、現在論議されている都道府

県などの広域的な合併や、市町村合併とも無縁ではありません。

閲覧室内では、福井県置県に関する『公文録』、「滋賀県行政文書」や明治期の福井の絵はがき（坪田仁兵衛家文書）が、カラー複製本で自由に御覧いただけます。また、展示に関する詳細なパンフレットも用意しております。御来館をお待ちしております。



「新撰滋賀県管内全図」1880年 73×83cm



「石川県管内図」1878年 116.5×84.5cm

閲覧室展示については、当館のホームページからも御覧になれます。

## Cover Photo Story

表紙写真：「福井県師範学校運動会」年未詳  
(坪田仁兵衛家文書)



坪田仁兵衛家（春江町大牧）に残る明治大正期の絵はがきの内の1枚です。江戸時代坪田家は大庄屋を務め、明治時代には仁兵衛（慎之丞）氏（1838～96年）

が、敦賀県第14大区副区長・福井県会議員・衆議院議員を歴任しました。

坪田家には、この絵はがきの他にも多くの貴重な絵はがきが残されており、福井県庁や福井市役所・九十九橋・鉄道・学校など当時の福井の様子が鮮明に映し出されています。

絵はがきは文書館閲覧室のカラー複製本で御覧いただけます。また、あわせて坪田家が所蔵している、新聞「北陸朝報」の附録「福井県実業家案内すご録」（1904年）も展示してあります。当時の福井・武生・敦賀などの銀行・会社・医院などが綿密に描写されています。

## 講演会・講座報告

### 講演会 「維新の激動と近代福井の成立」

講師：猪飼隆明氏（大阪大学大学院文学研究科教授）  
開催日：平成16年2月8日（日）  
開催時間：13:30～15:30  
場所：図書館多目的ホール

2月8日、福井県文書館による講演会が、武生市出身の猪飼隆明氏をお迎えして開催されました。猪飼氏は日本近現代史を専門とされ、明治維新、とりわけ西南戦争を中心とする士族反乱や自由民権運動などを研究されています。また、横井小楠研究を通じて福井にも深い関心をもっておられます。

講演では、まず王政復古クーデターから戊辰戦争への過程で、諸藩が決断を迫られたときの越前・若狭の諸藩の動向、特に小浜藩について『復古記』を用いて詳しく説明されました。

それから、維新政府が一部の政府高官による政権独占（有司専制）であったことを説明され、このことについて、立法・行政の両権が峻別されていないことなどを福井藩の松平春嶽が批判していたことを話されました。

また、越前国では廃藩置県前に、福井藩の提案で「越前一州一県之儀」を藩を

超えて連携して提出していることに着目し、その後、福井県域に様々な県が誕生しましたが、1881年（明治14）の「福井県誕生」を迎える過程を説明されました。

講演会には約110名の方が参加し、質問される方もいて、興味深く熱心に聞いておられました。



### 県史講座 「幕末の福井藩」

講師：本川幹男氏（福井県文書館）  
開催日：平成16年1月31日（土）  
開催時間：13:30～15:30  
場所：文書館研修室

福井県の歴史をさらに深く知っていただくために県史講座を開催しました。当日は44名の方が受講し、県民の関心の高さをうかがい知ることができました。

講座では、松平春嶽をはじめ、橋本左内・由利公正・横井小楠一人ひとりについて、幕末、福井藩でどのように活躍し、藩政改革を進めていったかなどを紹介しながら、本川幹男氏独自の論も展開されるなど、力のこもった講座になりました。受講された方々も熱心に取り組んでおり、質問も活発で時間を延長するほどでした。



## もっと古文書について知りたいという方に 古文書読解講座が開かれました。

### 「越前・若狭の古文書 古文書学入門」

講師：隼田嘉彦氏（福井大学教育地域科学部教授）  
開催日：平成15年11月16日（日）  
開催時間：13:30～15:30  
場所：図書館小集会室

越前・若狭の古文書全般の残り方について、年代別の量的な変化や、内容的な特徴を述べられた後、各藩の知行の領知宛行状と年貢免状を紹介し、宛名の位置など基本的な古文書の見方について説明されました。

その後、「自然（もしも）や「自由（勝手きまま）など、現在とは違った用語の読み方や意味について教えていただき、珍しい古文書をスライドで紹介していただきました。



### 「元禄期の大庄屋日記を読む」

講師：文書館職員  
開催日：平成15年10月26日（日）11月2日（日）9日（日）  
開催時間：13:30～15:30  
場所：文書館研修室

福井県文書館の調査において、あわら市の土屋豊孝家で新たに発見された元禄期の大庄屋日記を3回シリーズで読みました。日記には1694年（元禄7）9月26日以来、日を追って丁寧に記されており、大庄屋の任務や支配下の村々の様子などが具体的にわかります。

35名の方が受講されましたが、入門講座に続いてチャレンジされた方も多く、熱心に取り組んでおられました。



「元禄期越前幕府領と頭万賞帳」（土屋豊孝家文書）

県史講座

## 「元禄期の越前幕府領」

講師：藤野立恵氏（福井工業大学）  
開催日：平成16年2月14日（土）  
開催時間：13:30～15:30  
場所：文書館研修室

元禄期の越前の複雑な所領分布の状況にふれた後、その中の幕府領に焦点を当て、代官所の経費の問題や代官の仕事について説明されました。その後、大庄屋の役割、年貢の納入過程や年貢率、百姓の状況について述べられ、具体的な例として土屋豊孝家の大庄屋日記を紹介されました。

この講座には35名の方が受講されましたが、新しく参加された方も多く、専門的な話にうなずいている姿も見られました。



歴史的公文書紹介

# 芦原大火

2004年（平成16年）3月1日、坂井郡芦原町と金津町が合併してあわら市が誕生しました。市名の由来は芦原温泉にもとづくのですが、この芦原温泉ではほぼ半世紀前の1956年（昭和31）4月、大火災が発生し大きな被害を蒙ったことは、現在でも多くの人々の記憶に残っています。

福井県文書館が収蔵する福井県庁の歴史的公文書の中には、当時の秘書広報課が作成した「芦原町大火災関係綴」が残されています。

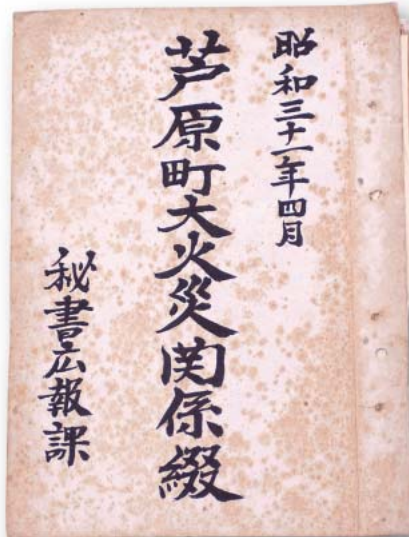
芦原町の旅館と商店街の大半を焼失したこの大火では、県の対応が時間の経過とともに進む様子が記され、さらに国の各省庁や国会議員宛に被害を知らせる電報を発したほか、復興支援のために知事をはじめ県庁各課が国の各省庁に対して復興支援の要望に奔走した様子がうかがえます。

この「芦原町大火災関係綴」は、わら半紙にガリ版刷りで、ほぼ半世紀を経た現在、用紙は茶色に変色し、すぐに破れてしまうほどもろくなっています。この原因のひと

つに用紙が酸性であることがあげられます。どんなに貴重な内容が記録されていても、紙など記録する媒体が劣化していけば、記録そのものが後世に伝えられなくなるということを、この公文書が物語っています。

文書館では、後世に伝えなければならない重要な歴史資料を温湿度が管理された書庫に保存しています。適切な保存についても大切な業務であり日々研究しています。

なお、秘書広報課は、1956年2月1日に総務部秘書課と広報課を合わせて設置されました。翌57年6月には知事官房の下となり、さらに58年4月1日付で再び秘書課と変遷しました。この「芦原町大火災関係綴」は、2年余の短い設置期間であった秘書広報課が存在していたということを示す資料でもあります。



資料名No.58「芦原大火」1956年



## 古文書資料紹介

# 古文書、公開数が増えます！

平成15年度に新たに公開したもののおよび近日中に公開できるものを、ここで一挙に紹介します。  
( )内は家番号です

岡崎善兵衛家文書 (A0037)	藤井好宣家文書 (E0059)	原藤右衛門家文書 (J0023)
山本仁輔家文書 (A0066)	一老嵯峨徳太郎家文書 (E0060)	平沢善兵衛家文書 (J0066)
山本 武家文書 (A0087)	大屋区有文書 (E0068)	黒厚区有文書 (J0072)
森 英三家文書 (A0120)	竹内幹雄家文書 (E0121)	花田庄兵衛家文書 (J0073)
毛利五左衛門家文書 (A0160)	大島 泰家文書 (F0060)	久保弥次右衛門家文書 (J0075)
小稲津区有文書 (A0511)	桑原 喬家文書 (F0501)	横山定右衛門家文書 (J0076)
心月寺文書 (A0529)	古川木戸兵衛家文書 (G0018)	笠川喜多右衛門家文書 (J0090)
豊島 茂家文書 (B0001)	津田道弘家文書 (G0019)	富田忠左衛門家文書 (K0029)
中浄法寺区有文書 (B0009)	永田三郎兵衛家文書 (G0031)	福井大学附属図書館 (A0069)
渡辺忠左衛門家文書 (B0023)	矢部宮秋家文書 (G0506)	福井大学附属図書館大野大庄屋 (A0115)
柚木嘉夫家文書 (B0024)	善玖寺文書 (G0511)	福井大学附属図書館高嶋文庫 (A0116)
山室屋文書 (B0035)	鶴甘神社文書 (H0043)	福井県立図書館 (石倉家旧蔵) (A0067)
矢尾眞雄家文書 (C0065)	篠座神社文書 (I0128)	福井県立図書館 (内藤家旧蔵) (A0136)
高松秀夫家文書 (D0024)	麦屋文書 (I0155)	福井県立図書館 (森家旧蔵) (A0142)
気比庄区有文書 (D0034)		

## 寄贈資料紹介

福井県文書館開館以来、県内外の資料所蔵者の方々から貴重な歴史資料の寄贈を受けました。  
お礼を申し上げるとともに、前号に引き続き、ここでご紹介いたします(2月末日現在)

### 出淵きみ子氏寄贈資料 (X0139)

出淵家は福井藩家臣で、武術に優れ、幕末維新期には伝之丞が郡奉行を務めています。

久世騒動記や新陰流秘伝に関するもの、出淵家系図など16点を寄贈されました。「出淵先生へ弔辞及び高王十句観音経」(軸)には、松平慶永の告別の辞が納められています。

右は出淵伝之丞を描いたもので、幕末から明治期にかけて活躍した伝之丞氏の姿をうかがうことができます。



### 西川秀男氏寄贈資料 (A0158)

福井市に1928年(昭和3)7月に開店した百貨店だるま屋についての資料群57点を寄贈されました。

西川氏は、45年だるま屋に入社し、重役を歴任後94年(平成6)退職。62年から93年(平成5)までの営業報告書やだるま屋20年史(未刊行)の編集資料などがあり、創業から45年までの売出し、催し、少女歌劇の興行、慈善活動などの様子が記されています。だるま屋の社会的文化的活動を知るうえで貴重な資料です。

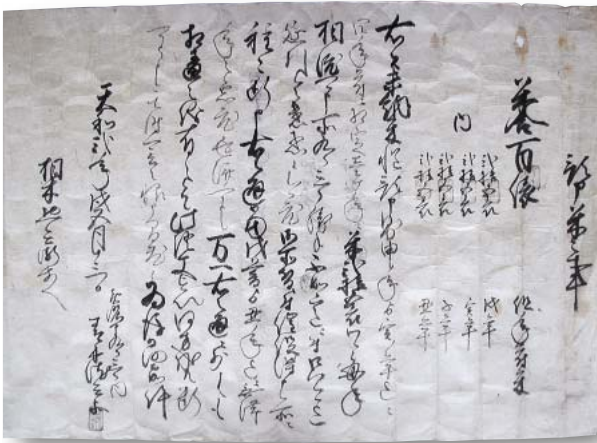


# 寄託資料紹介

## 相木惣兵衛家文書 (D0008)

相木惣兵衛家は、越前町城ヶ谷で特殊技能を持つ漁民集団（反り子）を支配していた相木家の一族です。

寄託資料は、『福井県史』編さん過程で撮影されていない近世資料と未調査であった近代資料、あわせて100点です。近世資料の中には反り子に関するものや新保浦小樟浦魚場申分裁許絵図などがあります。



## 東郷重三家文書 (A0546)

東郷重三氏は、1951年（昭和26）福井市議会議員に初当選後、県議会議員、同議長を歴任し、特に九頭竜川などの治水事業に大きな功績を挙げられました。

寄託資料は、県議会会議録や議員記念写真帖など議員時代の資料の他、治水関係を中心とした氏の幅広い活動に関する資料など1363点です。（現在非公開）



## 藪利和家文庫 (F0509)

元札幌学院大学法学部教授で、日本法制史研究の専門家であった故藪利和氏の資料群です。

寄託資料は、日本法制史・日本近世法制史などの図書類や「法制史研究」等の雑誌類、あわせて2922点とマイクロフィルム196本があります。



## 津田彦次家文書 (C0510)

三国町の津田彦次家が所有している『福井県写真帖』（1909年（明治42）刊）1冊で、明治の福井県内の名跡や建物、各地の有力者の写真を多く掲載しています。定価は10円で、当時としてはかなり高額な写真帖です。また県内には数点しか確認されていない貴重な資料です。



## 寄贈・寄託について

寄贈とは資料の所有が当館になることです。寄託とは、資料を一定期間文書館に預けていただき、管理を任せていただく制度です。寄贈・寄託された文書は、くん蒸して殺

虫し、温湿度の管理された書庫内に保管します。そして、資料の目録を作成し、県民の利用に供します。歴史的な資料をお持ちの方で、保存管理に困っておられる方は当館に御相談ください。

# お知らせ

## 講座のご案内

はじめて古文書を読んでみたいという方に  
古文書入門講座「古文書に親しむ」  
平成16年6月13日(日) 6月20日(日) 6月27日(日)  
13:30～15:30 定員40名(要申込み)  
会場: 研修室  
講師: 文書館職員  
マーレン・エーラス氏(福井大学留学生)  
3回シリーズです。秋に古文書読解講座を予定しています。

市町村史編さん関係者・文書管理担当者を対象に  
資料保存研修会「薬剤にたよらない紙資料の保存」  
平成16年7月8日(木) 13:30～16:30  
定員40名(要申込み)  
会場: 図書館小集會室  
講師: 金山正子氏(財)元興寺文化財研究所研究員)  
薬剤に頼らない紙資料の保存の考え方、管理の方法を学びます。  
いずれも無料・問い合わせ・申込みは文書館まで

## 記録資料は貴重な財産です

家の建て替え・蔵の取り壊しなどで資料の処分を検討されていたり、保存方法がわからずに資料の扱いに困っておられる方は文書館までお知らせください。

## ホームページもご覧ください

ホームページでは、当館からのお知らせ、出版物、公開資料の目録、「福井県史」通史編、「図説福井県史」などが御覧になれます。ホームページアドレスは次のとおりです。

<http://www.archives.pref.fukui.jp>



## 文書館だより Fukui Prefectural Archives 第3号

平成16年3月31日発行  
編集・発行 / 福井県文書館  
〒918-8113 福井市下馬町51-11 電話 0776-33-8890 FAX 0776-33-8891  
ホームページアドレス <http://www.archives.pref.fukui.jp>  
電子メールアドレス [bunshokan@ain.pref.fukui.jp](mailto:bunshokan@ain.pref.fukui.jp)

## ご利用案内

開館時間  
午前9時から午後5時まで  
休館日  
月曜日(国民の祝日は除く)  
国民の祝日の翌日(土、日、祝日は除く)  
文書等点検期間(年間10日以内)  
年末年始(12月28日～1月4日)  
清掃整理日(12月以外の第4木曜日、祝日の場合は翌日)



## フレンドリーバス(無料)のご案内

運行日: 毎週月曜日、年末年始(12.28～1.4)を除く毎日のりば: 市内バス5番のりば  
経路: 福井駅前～福井駅東口～高志高校前～羽水高校前～生活学習館～県立図書館(県文書館)  
(高志高校、羽水高校では、行きは乗車のみ、帰りは降車のみ可能です。)  
運行時間: 平日8:30～19:00 土日祝8:30～18:00  
運行間隔: 30分間隔  
(5番のりば、県立図書館ともに毎時00分、30分発)  
使用車両: 路線バスタイプのバス2両で、  
1両は車椅子用電動リフト付きです。

## 編集後記

文書館が開館して1周年を迎えました。少しずつ県民の皆さまとの絆が結ばれてきていると感じております。今後ともさまざまな形で皆さまとの絆を深めていきたいと考えております。ぜひ気軽に文書館にお立ち寄りください。